

昭和60年8月28日
本田技研工業株式会社

新本社ビル「ホンダ青山ビル」について

国際化、情報化時代に対応して、本社機能の一層の充実と事務業務の合理化、効率化を図るため、昭和58年8月より建設を進めてまいりました弊社新本社ビル「ホンダ青山ビル」が、去る8月7日に竣工、同19日より新本社ビルで業務を開始いたしました。

同ビル建設にあたりましては、ホンダのクルマづくりの基本姿勢でもあります安全性、居住性、操作性、省エネルギー、機能優先のデザインなどを採用、防災、安全、省エネルギー面に細かな配慮をしています。また、OA化にも積極的に取り組み、新システムの導入により付加価値の高い事務体質づくりを目指しています。

1階フロアには、社会との調和、コミュニケーションを図る場として、新しいかたちのパブリックスペース「ホンダ ウェルカム プラザ AOYAMA」を設置いたしました。

＜ホンダ青山ビルの特長＞

1. ホンダの新しい情報の発信地「ホンダ ウェルカム プラザ AOYAMA」

「ホンダ ウェルカム プラザ AOYAMA」は、誰もが気軽に立ち寄り親しんでいただける新しいかたちの広場です。

このプラザは、最新の各種ニューメディア機器を設置し、モータースポーツや製品、イベント情報など、バイクやクルマはもとより国内外のさまざまな話題を提供する最新情報の発信基地です。

また、ホンダの話題の新製品や技術を展示するほか、各種イベントを開催するなど、年中無休でオープンし、幅広い人々に“見て”“さわって”“参加”していただける楽しさあふれるホット情報スポットです。

2. 防災・安全面に細心の配慮

ビルの3隅に避難階段を設け、バルコニーに通じる部屋からの脱出口は5ヶ所あります。そのため、たとどこで火災が発生しても2方向以上の避難路が確保され、安全に脱出することができます。

避難階段は、バルコニーで接しているため、煙や炎、熱が外に放出され、避難階段の内部に入り込むのを防ぎます。

また、バルコニーは上部への延焼防止とガラスの落下を防ぎ、歩行者の安全を確保するなど、防災、安全に細心の配慮がなされています。

なお、防災・消火設備は、それぞれの機能に合った最適設備を導入し、防災センターのコンピューターにより監視、制御されています。

3. 省エネルギーへの積極対応

ホンダ10年にわたる省エネルギー活動のノウハウを導入し、ビルのエネルギー消費量を大型ビル平均値より38パーセント軽減しています。

設備機器は、マイクロコンピューターの活用により、機能分散が図られるとともに、よりきめ細かい制御が可能となり、省エネルギーを目的とした効果的な運転をするようになっています。

具体的な対策としては、各階ごとに2系統空調システムを採用し、OA機器の量、人の数など各階それぞれに異なる熱量に応じて、最適な空調コントロールがなされています。

また、水や風量を必要な時に必要なだけ供給するV.W.V.システム(可変水量システム)やV.A.V.システム(可変風量システム)の採用により電力消費量を大幅に軽減しています。

さらに、コンピューター制御による最適温熱環境維持、外気利用による冷房、各階の排気熱回収、コンピューター等の発熱を利用した暖房、ダクトや配管の断熱強化、高効率の照明システムなど空調熱源、空調搬送・換気、照明の細部にわたり積極的な省エネルギー対策がなされています。

4. 快適でフレキシブルに対応できるオフィスプラン

快適で効率的なオフィス環境の実現と、業務拡大、技術革新に対応して、部屋の使用目的やレイアウト変更にもフレキシブルに対応できるようワンビッグオフィス(柱を最小限にしたワンフロアプラン)とし、電気、データ、電話などは自由な配管が可能なフラットケーブル・コンダクターを採用、部屋の区画は可動間仕切りとなっています。

床は全てカーペットを採用し、オフィス内の騒音の減少・吸収、疲労度の軽減、保温効果などの向上を図っています。

5. ホンダのオフィスシステムとOA化

オフィス業務の生産性向上をめざし、事務業務の効率化を図るため、昭和59年4月より全社あげてEX-O運動(エキスパートオフィス運動)を進めてまいりました。

このEX-O運動は、エキスパートがいきいきと活躍できる創造的で付加価値の高いオフィスづくりをめざし、

- ・ スッキリとした職場とオフィス
- ・ ルーティン業務を徹底的に効率化したオフィス
- ・ 思考業務を効率化したオフィス
- ・ 内部コミュニケーションが円滑化されたオフィス
- ・ 快適な職場環境のオフィス

など、高効率なエキスパートオフィスの実現をめざすものです。

ホンダのOA化は、このEX-O運動と連動していることが特長で、

- 1)ニューメディアの実用化
- 2)一台の多機能ターミナルを活用できる統合システム化
- 3)EDPネットワーク(SNA)を中核としたシステム化と他事業所への水平展開

を図っています。

ホンダのO Aシステムは、^{ハ - モ ニ -}HARMONY (HONDA ADMINISTRATIVE REVOLUTION IN MODERN OFFICE WITH NEW NETWORK FOR YOURSELF)と呼ぶホンダ独自のシステムで、多機能ターミナルを活用し、必要な情報を必要な形態で手軽に活用できるトータル システムです。

< HARMONY システムの特長 >

I. 定型業務の支援

1) パーソナルIDカードによる出退勤、入出門管理と食堂利用

< 出退勤システム > < 食堂システム >

2) 出張旅費の申請、精算など伝票処理のいらない電子伝票

< 電子伝票システム >

II. 意思決定支援

1) EDP データーを活用した計画立案のためのシュミレーションが多機能端末機で簡単にできる企画支援 < 企画支援システム >

2) 大型ディスプレイによるコンピューター情報、資料提示および事業所との画像による会議の支援 < 会議支援システム >

III. コミュニケーション支援

1) ホンダ全社のコンピューター ネットワーク(SNA)を活用した一般文書メール < 電子メール システム >

2) ビデオテックス、CATV(有線テレビ)技術を活用した社内広報 < 社内広報システム >

3) 電話機(プッシュホン)により個人の行き先が入力でき、連絡先が明示できる音声応答 < 音声応答システム >

< ホンダ ウェルカムプラザAOYAMA > の概要

<ホンダ ウェルカムプラザAOYAMA>は以下の7つのゾーンに分かれています。

(1) コミュニケーション ゾーン

9面マルチビジョンを中心とした来場者のためのコミュニケーション空間です。NECの40インチ大型ビデオプロジェクター9台で構成された縦2m、横2.5mの迫力ある画面が得られます。このマルチビジョンは、現在、つくば科学博で好評の“NEC・C&Cシアター”の新技术を採用した最先端の映像メディアです。ここでは、国内外のモータースポーツや各種のビデオソフトを上映いたします。

また、スクリーン前のステージでは各種のミニイベントも開催することができます。

(2) 情報ガイド ゾーン

パソコン4台とレーザーディスク・チェンジャー1台を設置し、“レース速報”、“ツーリング・ドライブガイド”、バイクを楽しく安全に乗るための55情報を網羅した“ライディング・インフォメーション”など文字と映像により各種の情報、ホンダからのメッセージを提供します。

パソコンは簡単な操作で、情報の検索やプリントアウトをすることができます。

(3) ワールドゾーン

ホンダの海外拠点からの最新情報を映像で紹介するコーナー。

(4) 二輪車ゾーン

ホンダの二輪新製品を中心とした展示。

(5) 四輪車ゾーン

ホンダの新車を中心とした四輪展示。

(6) センターゾーン

ホンダの話題の新製品、新技术、レーシングマシンなどを展示。

(7)カリフォルニア・フレッシュ コーナー

カリフォルニアから直送のフレッシュフルーツのジュースを中心とした
ソフトドリンクコーナー

○インフォメーション・カウンター

＜ホンダ ウェルカムプラザAOYAMA＞には、9名のホンダレディが
ご来場の皆さまをお待ちし、館内のご案内役をいたします。
お問い合わせなど、ご用の折はご遠慮なくお尋ねください。

＜ホンダ ウェルカムプラザAOYAMA＞

開 場： 年中無休

開場時間： 平 日 9:00～19:00

土.日.祭日 10:00～18:00

建物の概要

建物名称： ホンダ青山ビル
所在地： 東京都港区南青山2丁目1番1号 TEL(03)423-1111(代)
規模： 高層棟(地上17階、塔屋1階、地下3階)
低層棟(地上6階、塔屋1階、地下3階)
敷地面積： 約 4,600平方メートル
建築面積： 約 2,400平方メートル
延床面積： 約40,200平方メートル
設計監理： ホンダビル設計室
(株式会社椎名政夫建築設計事務所)
(株式会社石本建築事務所)
施工： 株式会社 間組
工期： 昭和58年8月～昭和60年8月
建設費： 150億円

以上

<ご参考>

公共交通機関、最寄り駅

1. 地下鉄

- ・銀座線 青山1丁目駅(徒歩1分)
- ・半蔵門線 青山1丁目駅(徒歩1分)
- ・千代田線 乃木坂駅(徒歩10分)

2. 国鉄

- ・中央線 信濃町駅(徒歩13分)

<周辺略図>

